令和7年度　江戸川区立下小岩小学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	自ら考える子・・自ら学び他者と協力して課題を解決する子 心豊かな子・・多様性を認め他者と共に生きる優しさをもつ子 たくましい子・・何事にも自ら挑戦しようとする前向きな子		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	元気に登校、楽しく生活、満足して下校できる　笑顔あふれる学校 みずからチャレンジ　笑顔かがやく　下小岩の子 チームとして協働し、互いに切磋琢磨する教職員
前年度までの本校の現状	成果	・ベーシックドリル・よむYOMUワークシートの推進と定着 ・算数の授業スタンダードを基にした授業改善と学力向上 ・なわとびチャレンジウィークの区1位の上昇率 ・学校ホームページの運営と情報の発信	課題	・読書科や図書ボランティアの活動をより多く発信していく ・新校舎を活用した生活科、総合的な学習の時間の授業実施 ・保護者アンケートを基にして、学校関係者評価を活用した教育活動の改善 ・読み解く力の向上 ・学校における「働き方改革プラン」の継続的な実施

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」 自己（学校）評価(A～D)		「中間」 学校関係者評価(A～D)		「年度末」 自己（学校）評価（A～D）		「年度末」 学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	○授業改善の推進	・学習規律の徹底 ・黒板掲示カードを活用した問題解決的な学習の実施 ・４年以上の教科担任制の実施 ・国語科「説明的文章」を軸とした読み解く力の向上を図る指導の実施 ・江戸川区国語スタンダードを活用した授業の実施	・児童肯定的評価80% ・実施率100% ・全学年で交換授業の実施 ・教科担任制の実施 ・校内研の研究授業を全学年で実施 ・全担任の年１回授業公開を実施											
	○基礎基本の定着	・学習タイムの実施	・ベーシックドリル診断テスト定着率１０%アップ ・週１５分×２回の時間の保障											
	○一人一台端末を活用した個別最適な学びの実現	・週２回授業支援アプリを活用した学習タイムや宿題（東京ベーシックドリルなど）での取組 ・１日１回のICTを活用した授業の実施(パワーポイント、ミライシード・オクリンクなど)	・実施率100% ・年3回studyweekの実施 ・実施率80%											
	○読書科の更なる充実	・「江戸川っ子　読書科コンクール」の全員参加 ・教科指導で学校図書館の積極的活用 ・公共図書館との連携強化 ・よむYOMUﾜｰｸｼｰﾄ、よみうりﾜｰｸｼｰﾄを活用した家庭学習の推進	・実施率100% ・学級で週１回以上の活用 ・毎月１回の図書ボランティアによる団体貸し出しの実施 ・週１回よむYOMUワークシート(5･6年) ・週１回よみうりワークシート(3･4年)											
体力の向上	○運動意欲の向上	・全員外遊び（中休み）の奨励 ・体力テストの実施と分析 ・体育授業の改善	・学級の実施率90% ・体力テストの結果10%の向上 ・体育の実技研修年間３回実施											
	○食育の推進	・栄養士による食育に関する授業 ・給食後の歯みがき指導の実施	・年間１回以上の実施(各学年) ・HPへの献立をアップ(週2回) ・学校医･養護教諭による歯みがき指導を各学年に年1回の実施 ・フッ化物洗口、毎週水曜日に全学年実施100% ・歯みがき強化月間のお昼の放送を実施											

	○なわとびチャレンジの推進	・なわとびチャレンジウィークの実施 ・なわとびカードの活用	・学期に1回の実施 ・なわ跳び出前授業を年間1回全学年で実施 ・なわとびの技能２０％向上 ・全学年で長縄大会　年2回実施											
共生社会の実現に向けた教育の推進	○特別支援教育への理解・適切な支援	・特別支援教育研修会実施 ・校内委員会　月１回情報共有 ・副籍交流及び共同学習の実施・充実 ・ユニバーサルデザイン視点での教材教具や掲示物の工夫、視覚的支援	・年2回実施 ・実施率１００％ ・年2回の交流を実施 ・教員、児童肯定的評価80% ・研修会を年											
	○エンカレッジルーム・教育相談室の活用促進	・教育相談室のSC,SSWの活用し、児童の居場所づくりの実施 ・日本語指導員の積極的活用	・毎週月(SSW)・木(SC)の相談体制を強化 ・必要な児童の支援100%											
	○持続可能な社会の実現に向けて学びのある教育活動の展開	・防災教育の推進	・区職員、地域人材を活用した防災授業の実施 ・地域と協力した防災体験を年1回実施 ・5年の総合的な学習の時間での防災教育を題材とした授業開発											
不登校・いじめ対応の充実	○不登校対策の実施・充実	・Hot Projectに基づいた校内体制の整備 ・きづなづくり、居場所づくり	・毎週月曜日のSSW出勤を活かした相談・助言の有効活用 ・不登校児童を関係機関に100%繋ぐ											
	○ふれあい月間の充実 (6月・11月) ○人権意識向上	・生活アンケートの実施。 ・「江戸川区子どもの権利条約」について授業を実施する。	・学期1回の実施 ・いじめを題材とした道徳授業を年1回実施 ・実施率100%											
	○いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実	・不登校防止研修会の実施 ・いじめ対策委員会の実施 ・L-Gateの分析を毎日実施	・教員研修プログラムを基にした年9回のミニ研修を実施 ・いじめ対応の継続事案０の達成 ・いじめ案件発生当日に100%実施 ・毎月L-Gateの結果を基に児童理解を図る。											
地域社会に開かれた学校（園）の実現	○情報発信の充実 ○学校公開の実施	・ＰＴＡ活動、地域行事への参加、ＨＰ等による情報公開 ・学校の教育活動を発信 ・年間3回の実施	・HP,連絡メールを活用した、保護者・地域への積極的な情報発信 ・学校日記の更新を年間１７０回以上を目標 ・実施100%											
	○教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	・年３回　学校評議員会の実施 ・保護者アンケートの実施	・実施率１００％ ・保護者アンケート肯定的評価８５％以上											
特色ある教育の展開	○異学年交流の推進	・たて割り班活動を年１０回実施 ・全校遠足の実施	・児童満足度90% ・年間1回実施											
	○「学校における働き方改革プラン」の取組	・月１回の一斉退勤日の設定 ・業務内容の精選	・年間１２回実施 ・学校評価を活用した業務内容の精選、改善 ・時間外勤務時間年間４５時間以上の職員を０ ・2週間に1回、経営支援会議を実施											